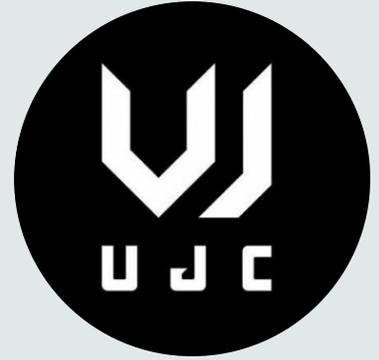


スペシャルテクニック★



子どもが走って、転けて泣きました。

どう声かけをしますか？

- ① 「○○、大丈夫？」
- ② 「こけたね、続ける？」

スペシャルテクニック★



「大丈夫？」を聞くことは、一番良くない聞き方で、

— 気を引くためさらに泣かせることになります。

②の「続ける？」か問うことが最善です。

気をそらせるための質問をします。

「この指何本？」

スペシャルテクニック★



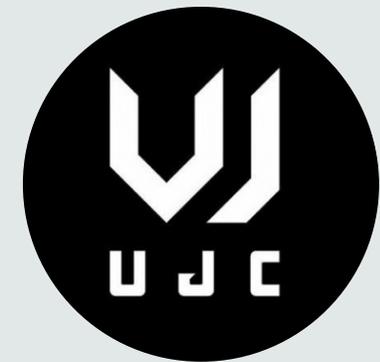
① 痛みのことを忘れて、子どもを他の事に気をそらせます。

② 子どもは、インストラクターの気を同時に引ける

このW効果で、泣くことをやめることにつながることがあります



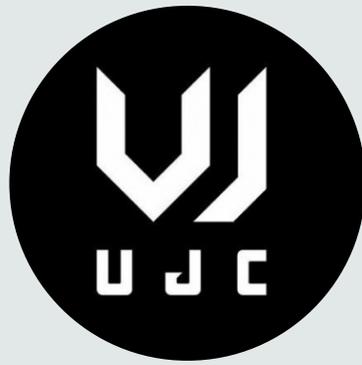
クラス中のトイレ問題について



—— 子ども「せんせい、トイレに行っていい？」
と聞かれたら、

「いいよ、ドッジボールの後行っていいよ。」
と答えます。

ドッジボールやクラスの最後の遊びの時間の後に行くよ
うに伝えます。



クラス中のトイレについて

クラスの途中で、1人トイレに退席させると、他の子供の
注意がそれて、クラスの流れが滞ります。

どうしても我慢できない時は、このように答えます。

「わかった、行ってもいいけど、
次からはクラスの前に済ませてね。」

次のスライドの前に5分休憩



Make it Or Break it -大成功するか、大失敗するか-

 MOBは、指導テクニックより大切です。

子どもは柔術のクラスに来て、良いと感じられたら通います。

その秘密は、インストラクターが子どもの
"ベストフレンド" になることです。



Make it or Break it -大成功するか、大失敗するか-

子どもは、子どもの友達はあるけど、

大人の友達が少ないので、

インストラクターが大人の友達になれば、会いに来るため

クラスに参加します。



Make it or Break it -大成功するか、大失敗するか-

子どもの友達になるには、コネクション（繋がり）が必要です

では、どのようにつながりを作るのでしょうか？

これからお見せする5つのSTEPを使用します。



Make it or Break it -大成功するか、大失敗するか-

STEP①子どもの名前を覚える
友達は、名前呼び合います。

STEP②ハイファイブ（タッチグー）をします
子どもはスキンシップが好きです。

STEP③日常のことを聞く

Ex.週末どこに遊びに行った？など友達同士の会話をします



Make it or Break it -大成功するか、大失敗するか-

STEP④たくさん褒める

人は誰でも「大切にされている」と感じたい欲求があります。
インストラクターの近くでそれを感じれると子どもは嬉しくなります。

STEP⑤インストラクターのお気に入りの生徒だと感じさせる事
インストラクターのチャレンジは、
それを全ての子どもに感じさせること



Make it or Break it -大成功するか、大失敗するか-

この5つSTEPができるとキッズクラスは、大成功となります

- ① 子どもの名前を覚える
- ② ハイファイブ（タッチグー）をする
- ③ 日常のことを聞く
- ④ たくさん褒める
- ⑤ インストラクターのお気に入りの生徒だと感じさせる

体験レッスンについて

子どもの体験レッスンが始まる前は、名前を聞く前に、
ハイファイブをして遊んで、褒めて
「一緒に柔術で遊ぼう」と誘います。

クラスの後には、お父さんたちの前で子どもを褒めて
 「楽しかった？」と聞きます。

規律について

「規律ある態度」は、子どもが社会の一員として守らなければならないきまりや行動の仕方を身に付け、時と場に応じて自ら行動し、けじめがあり責任がとれるようにするもの

—— 子どもに規律を保たせるには、
2つの方法があります。

① 厳しくして、怖がらせる

② コネクションをして友達になる

